

1



**現**代の教養とは「自分を  
知ること」。  
現代人の「生きる力」=教  
養の本質が一気に身につ  
く!

『おとなの教養：私たちはどこから来て、どこへ行くのか?』  
池上彰(著) NHK出版

2



**教**養は、生き抜くための  
「最強の武器」になる。  
池上彰が、「教養」とは何  
か、学ぶとどんないいこと  
があるのかを説明。

『池上彰の教養のススメ』  
池上彰(著) 日経BP社

3



**い**ま最も注目される起  
業家・前田裕二による渾  
身のメモ術!  
誰にでもできるけど、誰も  
まだ、その魔力に気付いて  
ない「本当のメモの世界」  
へ、ようこそ。

『メモの魔力』  
前田裕二(著) 幻冬舎

4



**フ**ァクトフルネスとは一  
データや事実にもとづき、  
世界を読み解く習慣。  
10の思い込みから解放さ  
れれば、癒され、世界を正  
しく見るスキルが身につく。

『FACTFULNESS：10の思い込みを乗り越え、デー  
タを基に世界を正しく見る習慣』 ハンス・ロスリング他(著) 日経BP社

5



**ゲ**ームAI手法を様々な  
実例で解説し、実際に  
ゲームAIを構築できる技  
法の習得を目指す。さらに  
人間らしいゲームAIや深  
層学習、機械学習、強化  
学習についても解説。

『ゲームAIと深層学習：ニューロ進化と人間性』  
伊庭齊志(著) オーム社

6



**「最**後まで読まなくて  
いい」「アウトプットを優先し  
不要な本は読まない」な  
ど、読書が苦手な人でも  
仕事や勉強を効率よく進  
めるためのヒントが満載。  
合理的な読書術を伝授。

『理科系の読書術：インプットからアウトプットまでの28  
のヒント』 鎌田浩毅(著) 中央公論新社

7



**「な**にもものでもない」時  
代は不安でつらい。  
まずは、そこから抜け出る  
ための読書7則。  
本はすべてのことを教えて  
くれる!

『もし20代のときにこの本に出会っていたら  
：後悔しないための読書』 齋藤小彌太(著) 文芸社

8



**「生**きづらさ」「働き方」  
「お金」「食」「幸福」「死」  
といったテーマで各章を構  
成。250冊を超える古今  
東西のおもしろい本を縦  
横無尽に紹介する読書  
エッセイ。

『千年の読書：人生を変える本との出会い』  
三砂慶明(著) 誠文堂新光社

9



**靖**国問題、日韓関係、  
捕鯨、女性差別などの論  
点で、日本を貶めてきた  
欧米リベラル系メディアの  
ひどい「物言い」「フェイク  
ニュース」を紹介する。

『日本を貶めるフェイクニュースを論破する!』  
JAPAN Forward編集部(著) PHP研究所

10



**わ**が国固有の伝統精神、  
武士道。  
1899年新渡戸稲造が  
英文で『武士道』を発表し、  
世界的な大反響を巻き起  
こした。本書はその現代  
語訳版。

『武士道(いつか読んでみたかった日本の名著シリーズ:2)』  
新渡戸稲造(著) 致知出版社

11



「**成**功と幸福とは違う」と悟った千九郎は「よりよく生きるための指針」を追究し、人類の歴史の中に見出した不変の真理を書き遺した。新たな倫理観を確立した偉人の箴言集!

『「三方よし」の人間学：廣池千九郎の教え105選』  
廣池千九郎（著） PHP研究所

12



「**天**は人の上に人を造らず人の下に人を造らずと言えり」。  
福澤諭吉が、生来平等な人間に差異をもたらす学問の意義を、平易な文章で説いた17の小篇。

『学問のすすめ：現代語訳』  
福澤諭吉（著） 筑摩書房

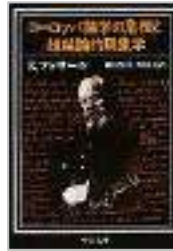
13



「**精**神も自我も社会的現象である。人間を人間たらしめている条件とは何か、人間社会の成立と発展の条件とは何かをめぐるモードの思索は、ほかに類をみない。

『精神・自我・社会』（デューイ=ミード著作集：6）』  
G.H.ミード（著） 人間の科学社

14



「**ナ**チスの非合理主義の嵐のなか、ひそかに書き継いだ現象学的哲学の総決算。  
時代批判を近代ヨーロッパ文化形成の歴史全体への批判として展開する。

『ヨーロッパ諸学の危機と超越論的現象学』  
エドムント・フッサール（著） 中央公論社

15



「**甘**え」は日本人独特の心理である。「甘え」という概念について、その論理や病理など多角的に論じる。変質しつつある日本社会の危機を分析した「甘え今昔」を加えた増補普及版。

『「甘え」の構造 増補普及版』  
土居健郎（著） 弘文堂

16



「**日**常生活での思考は推論の連続といえる。その多くは論理形式に従うより、文脈情報に応じた知識を使ったり、心の中のモデルを操作してなされる。知的能力の長所と短所とは。

『考えることの科学：推論の認知心理学への招待』  
市川伸一（著） 中央公論社

17



「**誰**もがみな本能的に失敗を遠ざける。だからこそ、失敗から積極的に学ぶごくわずかな人と組織だけが「究極のパフォーマンス」を發揮できる。

『失敗の科学：失敗から学習する組織、学習できない組織』  
マシュー・サイド（著） ディスカヴァー・トゥエンティーン

18



「**ア**ドラー心理学は、現代の日本にこそ必要な思想。対人関係に悩み、人生に悩むすべての人に贈る、「まったくあたらしい古典」

『嫌われる勇気』  
岸見一郎、古賀史健（著） ダイアモンド社

19



「**私**だけがのけ者にされ、みんなから悪く言われている…。そう感じてしまうのはなぜか。その仕組みを考察。人生の台本を紡ぎ直し、自分らしく生きるためのヒントを説く。

『ハブられても生き残るための深層心理学』  
きたやまおさむ（著） 岩波書店

20



「**プ**レゼントが気に入らなくても、「気に入った」って言わなきゃいけない？  
どうするのが正しいことなのかわからないこと、その考え方の道筋がわかります。

『なぜウソをついちゃいけないの？：ゴットフリートおじさんの倫理教室』  
ライナー・エアリンガー（著） ベストセラーズ

21

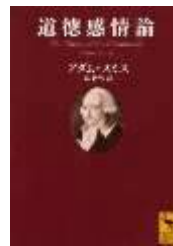


**自**動運転車やケア・ロボット、自律型兵器などが引き起こしうる、もはやSFでは済まされない倫理的問題を通し、人間の道徳を考える、知的興奮に満ちた入門書。

『ロボットからの倫理学入門』

久木田水生、神崎宣次、佐々木拓 (著) 名古屋大学出版会

22



**調**和ある社会の原動力とは何か？  
鋭い観察眼・深い洞察力と圧倒的な例証により、個人の心理と社会の関係を解明した傑作！

『道徳感情論』

アダム・スミス (著)

人間がまず隣人の、次に自分自身の行為や特徴を、自然に判断する際の原動力を分析するための論考』 講談社

23



**ひ**とは幸福になるために生きているけれど、幸福になるようにデザインされているわけではない。  
8つの人生パターンから「幸福」のカチを選択するヒント。

『幸福の「資本」論』 : あなたの未来を決める「3つの資本」と「8つの人生パターン」

橋玲 (著) ダイアモンド社

24



「**人**を動かす三原則」  
「人に好かれる六原則」  
「人を説得する十二原則」  
など、身につけるべき人間関係の原則を具体的に明示する。

『人を動かす』

D.カーネギー (著) 新潮社

25



**最**高の人生を生き抜くために。クリステンセン教授がこれまで自身が教えてきた経営戦略を人生訓に落としこんで語るハーバード・ビジネススクールの最終講義。

『イノベーション・オブ・ライフ: ハーバード・ビジネススクールを巣立つ君たちへ』

クレイトン・M・クリステンセンほか (著) 翔泳社

26



「**品**性を第1資本とし、金を第2資本とす」道徳経済一体思想を説いた偉人の箴言集。「出藍の経営」「値切らずに安く仕入れる方法」など、現代経営者の拠り所となる1冊。

『「三方よし」の経営学』

廣池千九郎の教え99選』 廣池千九郎 (著) PHP研究所

27



**後**悔のない人生のために、20代のいま、何をすることができるのか。  
ベストセラー『ユダヤ人大富豪の教え』の著者が、20代のあなたに送る、17のメッセージ。

『20代にしておきたい17のこと』

本田健 (著) 大和書房

28



**S**NSからリアルな人間関係まで現代社会の悩みを解決する目からウロコのちょっとした「考え方」のヒントがここに。  
ここにいない誰かからココロを守る64の考え方。

『多分そいつ、今ごろパフェとか食ってるよ。』

Jam (著) サンクチュアリ出版

29



**お**金の力を正しく知って、思い通りの人生を手に入れよう。  
変化の時代のサバイバルツールとして世界中で読まれ続けるベスト&ロングセラー。

『金持ち父さん 貧乏父さん: アメリカの金持ちが教えてくれるお金の哲学』

ロバート・キヨサキ (著) 筑摩書房

30



**置**かれたところこそが、今のあなたの居場所。  
時間の使い方は、そのままのちのちの使い方。自らが咲く努力を忘れてはなりません。心迷う人へ向けた、国民的ベストセラー。

『置かれた場所で咲きなさい』

渡辺和子 (著) 幻冬舎



31



**貧**困、いじめ、勇気、学問…。今も昔も変わらないテーマに、人間としてどう向き合うべきか。生き方の指針となる言葉が沢山示されている。時代を超えた名著。

『僕たちはどう生きるか』  
吉野源三郎（著） 岩波書店

32



**言**葉はいつも生きる喜び、希望、勇気、力を与えてくれた。40年の歴史を誇る人間学誌『致知』、10万人を超える読者が心を鼓舞された名言。

『十万人が愛した言葉』  
藤尾秀昭（監修） 致知出版社

33



**な**ぜ、世界は5大「文字世界」でできているのか？人類史を「文字」に着目したオリジナルな区分でとらえなおし、世界史の流れが一目につかめる驚異の「世界史」講義。

『大人のための「世界史」ゼミ』  
鈴木董（著） 山川出版社

34



**あ**の日、日本で起きた事。起きなかった事。8月15日をめぐる24時間を、綿密な取材と証言を基に再現する、史上最も長い1日を活写したノンフィクション。

『日本のいちばん長い日 決定版』  
半藤一利（著） 文藝春秋

35



**長**く忍従を強いられながらも、独自の文化を失わず、有為の人材を輩出し続けたウクライナ。ヨーロッパ第二の広い国土を持つ、知られざる「大国」の素顔に迫る。

『物語ウクライナの歴史：ヨーロッパ最後の大国』  
黒川祐次（著） 中央公論新社

36



**明**治30年、福沢は速記者を前にして、60年の生涯を口実し、自伝をかきあげた。近代日本の激動期を背景に、常に野にあって独立不羈をつらぬいた精神の歩みが語られる。

『福翁自伝』  
福沢諭吉（著） 岩波書店

37



**平**気で列に割り込む、自慢話ばかりする—中国人がものを判断し、反応する時の「クセ、反応の相場」は中国社会のどのような仕組みから生まれたのかを明らかにする。

『スッキリ中国論：スジの日本、量の中国』  
田中信彦（著） 日経BP社

38



**自**由と平等をモラルという側面から見直してみる。我々が属する家庭、学校、社会、国家、国際社会といった人間の集団の課題について、道徳的な解決策を考える。

『国家と道徳：令和新時代の日本へ』  
廣池幹堂（著） 文藝春秋

39



**8**4歳の知性が考え抜いた究極の人間論。ヒトという生物であると実感し、あらためて問い直す。人生そのものが不要不休ではないか。生きる価値はどこにあるのか。

『ヒトの壁』  
養老孟司（著） 新潮社

40



**私**たちの暮らす社会の経済構造を把握し、そこから生まれる問題を解決するために一。理論、歴史、統計の重要性と限界に向き合う。

『経済社会の学び方：健全な懐疑の目を養う』  
猪木武徳（著） 中央公論新社

41



**驚**くべき中国教科書の実態、日本からの累計6兆円にも及ぶ援助金が何に使われているのか。日中関係の実態、真の日中友好の在り方を説く、驚愕のレポート。

『日中再考』

古森義久（著） 産経新聞ニュースサービス

42



**こ**れまでの経済学では、人は合理的に行動するものと考えられてきた。だが、本当にそうだろうか。行動経済学の第一人者が私達を動かすものの正体を解説。

『予想どおりに不合理：行動経済学が明かす「あなたがそれを選ぶわけ」増補版』 ダン・アリエー（著） 早川書房

43



**複**雑な社会や日常の暮らしが、どのような仕組みで成り立っているのか、ゲーム理論で解き明かす。生きづらい社会で生きる人のための道標。

『ゲーム理論はアート：社会のしくみを思いつための繊細な哲学』 松島斉（著） 日本評論社

44



**誰**かに伝えずにはられない、世界の事実がここにある。アフリカで人道支援に取り組んできた原貫太氏が、独自の切り口で世界の諸問題に迫る。

『あなたとSDGsをつなぐ「世界を正しく見る」習慣』 原貫太（著） KADOKAWA

45



**実**業界の父が、生涯を通じて貫いた経営哲学とは…。明治期に資本主義の本質を見抜き、470社の会社を設立した彼の言葉は、指針の失われた現代にこそ響く。

『論語と算盤：現代語訳』

渋沢栄一（著） 筑摩書房

46



**「SDGsをビジネスにどう活かすことができるのか」という視点に軸をおいて構成。広くSDGsについて1冊で理解したいという人にお勧め。**

『SDGs入門』

村上芽、渡辺珠子（著） 日本経済新聞出版

47



**「頭のいい人」が何をどう考えているかを明確にし、誰でも思考の質を高め、「頭のいい人」になれる方法を伝授。**

『頭のいい人が話す前に考えていること』

安達裕哉（著） ダイヤモンド社

48



**7カ国に住み、60カ国以上の人たちと共に働いてきた著者が、人付き合いのコツ、英語の学び方を伝える。**

『世界で働く人になる！：人づきあいと英語のスキルを劇的に上げる41の方法』 田島麻衣子（著） アルク

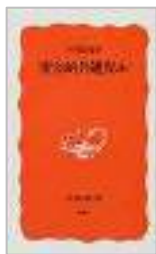
49



**どうやったらお金を増やすことができるのかに悩む人々へ送る、簡単にできる、節約、資産を増やす方法、投資まで…お金を増やすため、人生を豊かにするためのヒントが満載。**

『ジェイソン流お金の増やし方：コレだけやれば貯まる!』 厚切りジェイソン（著） ぴあ

50



**豊**かな経済生活を営み、人間的に魅力ある社会の安定的維持を可能にする社会的共通資本。その考え方を経済学史の中に位置づけ農業、都市など具体的テーマに即して明示。

『社会的共通資本』

宇沢弘文（著） 岩波書店

51



「資格よりも場」「序列意識」「ウチとソト」など、日本社会独自の構造を鮮やかに解き明かした「タテ」の理論。現代日本の抱える問題を「タテ」の理論を使って読み解く。

『タテ社会と現代日本』

中根千枝 (著) 講談社

52



コミュニケーションの基本である会話がうまくいくようになる“ちょっとした”でも多くの人が気づいていないエッセンス。人と話すことがラクになり、人生がよりよい方向に動き出します！

『人は話し方が9割』：1分で人を動かし、100%好かれる話し方のコツ』 永松茂久 (著) すばる舎

53



「ロスト欲望」時代の消費文化は、どのような駆動因により動くのか。歴史を整理する枠組みを提示、衰退期日本の今後を展望。

『ロスト欲望社会』：消費社会の倫理と文化はどこへ向かうのか』 橋本努 (著) 勁草書房

54



学校や職場でマイノリティとどう向き合うか。「LGBT」を手掛かりとして、多様な性のありかたを知る方法を学ぶための一冊。

『LGBTを読みとく』：クィア・スタディーズ入門』 森山至貴 (著) 筑摩書房

55



性的マイノリティの話題を網羅した『読む現代LGBT事典』。当事者運動が活発化した1990年代以後を生きたゲイ男性が、話題を自分史に重ねながら平易に解説。

『「LGBT」ヒストリー』：そだったのか、現代日本の性的マイノリティ』 永易至文 (著) 緑風出版

56



この世には「反省以前の子ども」が沢山いる。認知力が弱く「ケーキを等分に切る」ことすらできない。「境界知能」の人々を社会生活に導くメソッドを公開。

『ケーキの切れない非行少年たち』 宮口幸治 (著) 新潮社

57



まるで世界の縮図のようなこの学校では、いろいろあって当たり前、みんなぼくの大げな友だちなんだ。ぼくとパンクな母ちゃんは、ともに悩み、毎日を乗り越えていく。

『ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー』 プレイティみかこ (著) 新潮社

58



大学の仕組みや勉強の仕方について、「高校までとはどう違うのか」という視点から、わかりやすく紹介。新入生向けオリエンテーションに最適のテキスト。

『大学新入生ハンドブック』：大学生活これだけは知っておきたい』 世界思想社編集部 (編) 世界思想社

59



「もっと頑張れ!」とか、「若いうちは勉強しなきゃダメだ!」といった精神論では、問題は解決しない。大学生が勉強する「システム」を作る。現実的な解決策を紹介。

『なぜ日本の大学生は、世界でいちばん勉強しないのか?』 辻太一朗 (著) 東洋経済新報社

60



語学力は天性の才能ではない。「日本語&英語」は、学べば学ぶほど脳を鍛える効果抜群の筋トレ! 大人こそ身につけたい「言葉」の勉強法。

『脳がワクワクする「語学」勉強法』 茂木健一郎 (著) PHP研究所



61



**陸** 中遠野郷に伝わる口碑を簡古かつ気品ある文章で書きとめた「遠野物語」、併収の「山の人生」。柳田学の展開を画する記念碑的労作。

『遠野物語・山の人生』  
柳田国男（著） 岩波書店

62



**戦** 略とは何か。勝ち抜き生き残るために、いかなる戦略をとるべきなのか。思想家たちの叢智が結集された戦略論の中から、現代人必読の12冊を厳選。

『戦略論の名著：孫子、マキアヴェリから現代まで』  
野中郁次郎（著） 中央公論新社

63



**素** 数ってなに？数のひみつをモンスターが教えてくれる！色々なモンスターと遭遇して、素数の面白さを発見する旅に出かけましょう。

『素数モンスター：100までの数とそのキャラクターたち』  
R.E.シュワルツ（著） 数学書房

64



**人** 体の知識、医学の偉人の物語、ウイルスや細菌の発見やワクチン開発のエピソード、現代医療にまつわる意外な常識などを紹介。医学の奥深さを伝える一冊。

『すばらしい人体：あなたの体をめぐる知的冒険』  
山本健人（著） タイヤモンド社

65



**ジ** ョブズはわが子にiPadを与えなかった?! うつ、睡眠障害…最新の研究成果があぶり出す恐るべき真実。教育大国スウェーデンを震撼させ、社会現象となったベストセラー。

『スマホ脳』  
アンデシュ・ハンセン（著） 新潮社

66



**学** 力・集中力・記憶力・創造性…脳のあらゆる力を伸ばす運動の秘訣、大公開！何歳からでも、5分から効果があります！

『運動脳』  
アンデシュ・ハンセン（著） サンマーク出版

67



**2** 1世紀、地球上に起こった主な環境問題をテーマごとにわかりやすく理解できる本。著者独自の視点で、わかりやすく伝える科学読み物。

『地球環境問題がよくわかる本 改訂版』  
浦野紘平、浦野真弥（著） オーム社

68



**身** 近な問題として注目される気候変動、自然災害の多発、それに伴う食料安全保障、食品ロス問題などを取り上げ、個人レベル、政策レベルで何をする必要があるかを考える。

『SDGs時代の食・環境問題入門 (シリーズ食を学ぶ)』 吉積巴貴 (ほか) (著) 昭和田

69



**6** 0分で読めるけれど一生あなたを離さない本。《アイデアをどうやって手に入れるか》という質問への解答がここにある。

『アイデアのつくり方』  
ジェームス・W・ヤング（著） 阪急コミュニケーションズ

70



**U** SJはなぜ勝ち続けるのか？ビジネスを劇的に変える勝率97%の思考法。「マーケティング」を重視する企業になって、劇的に変化！

『USJを劇的に変えた、たった1つの考え方：成功を引き寄せるマーケティング入門』 森岡毅（著） KADOKAWA

71



1962年の国際空港を成田に立地するという閣議決定から、25年に渡る苦難の対決をまとめる。工業化・開発至上主義に由来する戦後日本の悲劇の本質が浮彫りされる。

『『成田』とは何か：戦後日本の悲劇』

宇沢弘文（著） 岩波書店

72



ヨーロッパの哲学を下敷きに、歌舞伎、清元、浮世絵、文様等々の各ジャンルを横断し、美意識に潜む「異性への媚態」「江戸文化の意気地」「諦めと恬淡」を解説。

『『いき』の構造』

九鬼周造（著） 講談社

73



日本社会にとって「多言語」とは何か、「多言語」がいかに日本社会を変えていく可能性を秘めているか。国内外の多言語状況を肯定し、尊重する社会をめざす。

『多言語主義社会に向けて』

平高史也、木村護郎クリストフ（著） くろしお出版

74



語学は魔法の剣! 学んだ言語は25以上の境界ノンフィクション作家による、超ド級・語学青春記。自身の語学体験に基づき、言語を楽しく考察。自動翻訳時代の語学の意味とは。

『語学の天才まで1億光年』

高野秀行（著） 集英社インターナショナル

75



シャドーイングの効果を科学的根拠とともに解説し、その学習方法を提案。効率のよい外国語習得の理論と実践法を科学的データに基づいて提供。

『外国語を話せるようになるしくみ：シャドーイングが言語習得を促進するメカニズム』 門田修平（著） SBクリエイティブ

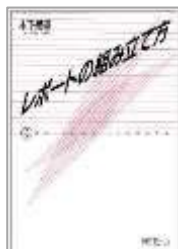
76



「外国語が身につく」とき、学習者にはどんな変化がおきているのだろう。独自の研究分野として発展してきた「第二言語習得研究」の最前線を紹介する。

『外国語学習に成功する人、しない人：第二言語習得論への招待』 白井恭弘（著） 岩波書店

77



レポートの役割は、読み手にわかりやすく伝えることである。豊富な具体例をもとに、そのノウハウをわかりやすく説く。

『レポートの組み立て方』

木下是雄（著） 筑摩書房

78



英語学習の成功者たちはこうして学んだー。ポキャブラリーの学習法は？ 学習の段取りは？ 要注意の学習法って…？ 勉強の仕方に悩むすべての外国語学習者必読の一冊。

『『達人』の英語学習法：データが語る効果的な外国語習得法とは』 竹内理（著） 草思社

79



芸大生ミハルが「渡芬」したのはフィン語の辞書もない70年代末。個性溢れる仲間と共に極寒の冬も混浴サウナもどうにか乗り切った、抱腹絶倒の留学体験エッセイ!

『フィンランド語は猫の言葉』

稲垣美晴（著） 猫の言葉社

80



坂村真民が半世紀に及ぶ詩作生活のなかで歌いあげた一万余篇の中から、「鳥は飛ばねばならぬ」などの代表作を含む128篇を厳選して編んだ決定版。

『詩集 念ずれば花ひらく』

坂村真民（著） サンマーク出版



81



**独**ソ戦が激化する1942年、モスクワに急襲したドイツ軍によって、母親のエカチェリーナほか村人たちが惨殺された。おびただしい死の果てに、彼女が目にした“真の敵”とは？

『同志少女よ、敵を撃て』

逢坂冬馬（著） 早川書房

82



**内**定を賭けた議論が進む中、六通の封筒が発見される。彼ら六人の嘘と罪とは。そして「犯人」の目的とは一。作者が仕掛ける、究極の心理戦。

『六人の嘘つきな大学生』

浅倉秋成（著） KADOKAWA

83



**御**厨家の女性たちは人生の節目とピンチを乗り越えるため、お金をどう貯めて、どう使うのか？知識が深まり、絶対「元」もとれちゃう「節約」家族小説！

『三千円の使いかた』

原田ひ香（著） 中央公論新社

84



**死**んだ人のことなんか知らない。あたしは、誰かの代わりに生まれてきたんじゃない」ある殺人事件で絡み合う、容疑者そして若き刑事の苦悩。本当の家族とは。

『希望の糸』

東野圭吾（著） 講談社

85



**ほ**んの数回会った彼女が、人生の全部だった。一二人が出会った、たった1つの運命。切なくも美しい、4半世紀の物語。

『光のところにいてね』

一穂ミチ（著） 文藝春秋

86



**わ**たしは、あんたの誰にも届かない52ヘルツの声を聴くよ」自分の人生を家族に搾取されてきた女性・貴瑚と、母に虐待され「ムシ」と呼ばれていた少年の物語。

『52ヘルツのクジラたち』

町田そのこ（著） 中央公論新社

87



**わ**しは目が悪くなり、もう本を読むことができない。世界中をまわって『めづらしい本』の話を聞いてきてくれ」2人の男は、沢山の本の話を持ち帰り、王様のために夜ごと語り出した。

『その本は』

又吉直樹、ヨシタケシンスケ（著） ポプラ社

88



**お**前なあ、このままやと2000%成功でけへんで」ダメな僕の前に現れたゾウの姿をした神様“ガネーシャ”。その教えは地味なものばかり。僕の夢は本当にかなうの!?

『夢をかなえるゾウ』

水野敬也（著） 飛鳥新社

89



**そ**の街に行かなくてはならない。なにがあらうと一〈古い夢〉が奥まった書庫でひもとかれ、呼び覚まされるように、封印された“物語”が深く静かに動きだす。

『街とその不確かな壁』

村上春樹（著） 新潮社

90



**風**光明媚な瀬戸内の島に育った暁海と、自由奔放な母の恋愛に振り回され島に転校してきた權。共に心に孤独を抱えた二人は、惹かれ合い、すれ違い、成長していく。

『汝、星のごとく』

凧良ゆう（著） 講談社

91



**三**人の男と一人の女の、三十余年におよぶ人生、その過ぎし日々が交錯し、幾重にも織り込まれてゆく、この数奇なる愛の軌跡。

『月の満ち欠け』

佐藤正午（著） 岩波書店

92



**婚**約者・坂庭真実が姿を消した。その居場所を探すため、西澤架は、彼女の「過去」と向き合うことになる。恋愛だけでなく生きていくうえでのあらゆる悩みに答えてくれる物語。

『傲慢と善良』

辻村深月（著） 朝日新聞出版

93



**知**人が購入を検討している都内の中古一軒家。開放的で明るい内装の、ごくありふれた物件に思えたが、間取り図に「謎の空間」が存在していた。不可解な間取りの真相とは。

『変な家』

雨穴（著） 飛鳥新社

94



**人**生は忘れがたい断片にいくつ出会い、心動かされたかで決まる。私はその断片を「二十代で得た知見」と名づけることにしました。

『20代で得た知見』

F（著） KADOKAWA

95



**1**960年プラハ。マリはソビエト学校で毎日過ごしていた。30年後、音信の途絶えた3人の親友を捜し当てたマリは、少女時代には知り得なかった真実に出会う！

『嘘つきアーニャの真っ赤な真実』

米原真理（著） 角川学芸出版

96



**中**国国民党の独裁が強まっていた時期に編まれた、自己の内面の矛盾に光をあてた散文詩集。絶望は虚妄だ、希望がそうであるように…。

『「野草」全訳』

魯迅（著） 平凡社

97



**日**本でも圧倒的共感の声！「これはわたしの物語だ」韓国で社会現象にまで発展した1冊。女性たちの絶望が詰まったこの本は、未来に向かうための希望の書。

『82年生まれ、キム・ジョン』

チョナムジュ（著） 筑摩書房

98



**天**才に変貌した青年が愛や憎しみ、喜びや孤独を通して知る人の心の真実とは？全世界が涙した不朽の名作。

『アルジャーノンに花束を』

ダニエル・キイス（著） 早川書房

99



**ハ**ッセの深いインド研究と詩的直観とが融合して生み出された、〈東洋の心〉の結晶とも言うべき人生探究の物語。

『シッダルタ』

ヘルマン・ハッセ（著） 岩波書店

100



**1**度読んだら必ず宝物にしたいくなる、この宝石のような物語は、刊行後60年以上たった今も、世界中でみんなの心をつかんで離さない。

『星の王子さま』

サン＝テグジュペリ（著） 文藝春秋